



地方独立行政法人

栃木県立がんセンター

Tochigi Cancer Center

8月号
2026



表紙写真：栄養管理科のスタッフ

がんセンターだより

あいの Philosophy Art Humanity こころ

- P.1 「センターオブエクセレンス」受賞・頭頸部外科月間の活動
- P.2 開催・出展イベントのご報告
- P.3-4 がんセンターの食事
- P.5 強化指定選手選出・ラジオ番組出演
- P.6 治療と仕事の相談会のご案内



とちまるくん ©栃木県



放射線治療の先進的な取り組みが表彰されました

このたび当センターは、高精度な放射線治療への先進的な取り組みが評価され、放射線治療機器メーカーであるElekta社とC-RAD社から、「SGRT(体表面画像誘導放射線治療)」の代表施設「センターオブエクセレンス」として表彰されました。

SGRTとは、患者さんの体の表面を専用のカメラで立体的に捉え、体の位置をリアルタイムで確認しながら放射線を照射する技術です。体に目印を付ける必要がなく、わずかな体の動きも検知できるため、より正確で安全な治療につながるほか、患者さんの身体的・精神的な負担の軽減にも役立っています。

当センターでは、この技術を導入し、その運用方法の確立や治療精度の向上に取り組んできました。こうした実績が評価され、今回の表彰につながりました。今後も、安全で質の高い放射線治療を提供してまいります。



頭頸部外科月間の活動



毎年7月27日は「世界頭頸部がんの日」であることから、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会では2021年より毎年7月1日から31日を「頭頸部外科月間」とし、日本における頭頸部がん予防と啓発活動を展開しています。その活動の一環として、当センターでは頭頸部腫瘍・耳鼻咽喉科医師が中心となり、頭頸部がんに関する掲示を行い、多くの方にご覧いただきました。

また、当センターでは頭頸部がんに関心のある患者さんやご家族に、診療内容を理解していただくための動画も公開しております。これからも患者さんが安心して治療を受けられるよう、丁寧な診療を提供してまいります。



以下で検索 または
QR コードから
ご視聴いただけます。



◀頭頸部がん編



栃木県立がんセンター 頭頸部がん YouTube





ふれあい看護体験を開催しました

5月29日、当センターにおいて「ふれあい看護体験」を開催しました。ふれあい看護体験は、「看護の日」の記念行事として全国で実施されているイベントで、今回は県内の高校生15名にご参加いただきました。参加者の皆さんは、講堂での委嘱状交付式のあと、実際に病棟でストレッチャーや車いすの操作、医療器具の取り扱いなどを体験しました。当日は終始和やかな雰囲気の中で行われ、普段なかなか知ることのできない医療現場の様子や、看護師として働くことの魅力について直接話を聞く機会にもなりました。

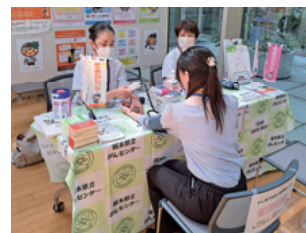
今回の体験が、参加された皆さんの将来の進路選択の一助となり、将来、地域医療を支える看護師として活躍して下さることを期待しています。



「県民の日」記念イベントに出展しました

6月13日、「県民の日」記念イベントにあわせて、栃木県庁のイベント会場へ出展しました。「県民の日」は、毎年6月15日に制定されており、県内各地でさまざまな催しが行われています。

当センターでは、がん予防やがん検診の大切さをお伝えする啓発ブースを設置し、看護師2名による健康相談や血圧測定を実施しました。当日は、ブースに約102名の方にご来場いただき、健康について気軽に相談できる場として、多くの皆さまと交流ができました。私たちにとても大変貴重な機会となりました。今後も地域の皆さまの健康づくりに役立つ活動に取り組んでまいります。



市民公開講座を開催しました



講演① 「女性罹患率1位の乳がん～自分・家族のためにも知っておこう～」

講師：豊田 知香（栃木県立がんセンター 乳腺外科 副科長）

講演② 「早く見つけて切らずに治す!～消化器がん内視鏡治療の最前線～」

講師：橋元 幸星（栃木県立がんセンター 消化器内科 医長）

7月25日、当センターにおいて「第20回市民公開講座」を開催しました。市民公開講座は、地域の皆さまにがんに関する正しい知識を広く知っていただくことを目的として毎年開催しているイベントです。今回は「乳がん」と「消化器がんの内視鏡治療」をテーマに、当センターの医師が最新の治療や早期発見の重要性について分かりやすく解説し、当日は76名の方にご参加いただきました。

参加者の皆さまは熱心に耳を傾けられ、がんの予防や早期発見、最新の治療について理解を深める機会となりました。当センターでは、今後も地域の皆さまに向けて、がんに関する正しい知識を分かりやすくお伝えする取り組みを続けてまいります。



がんセンターの食事

栄養管理科

普通食



ソフト食



ミキサー食



ゼリー食



当センターの給食は2024年度からニュークックチル方式を採用しています。

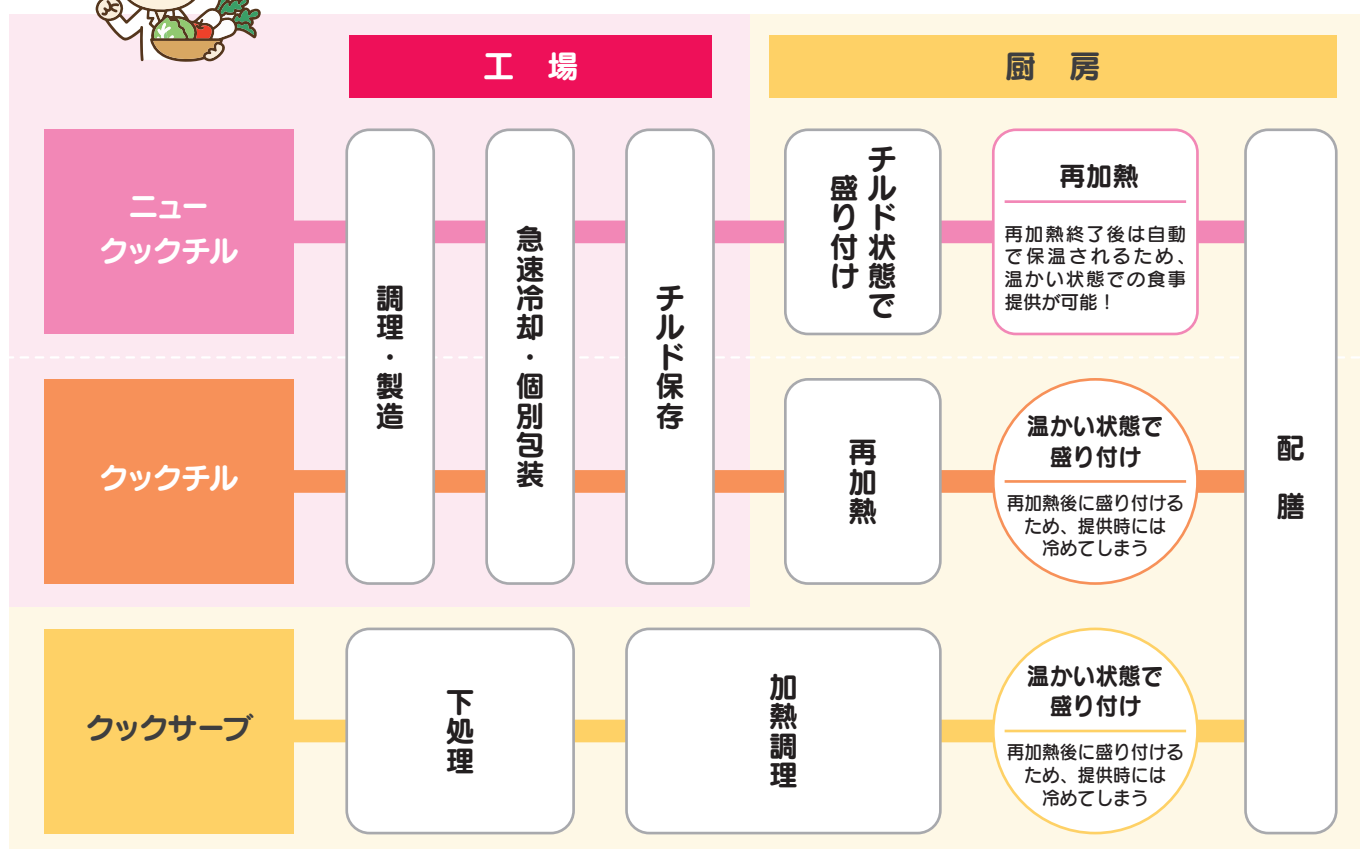
図にあるように、今まで採用していたのが食材を調理して提供するクックサーブ方式でした。2024年度に人員不足対策として給食体制を検討しニュークックチル方式を採用しています。

ニュークックチル方式とは、病院厨房での調理ではなく院外にある工場（セントラルキッチン）で調理製造を行い、個別包装したものを急速冷却させチルド保存したものが病院に納品されます。納品された料理をチルド状態で食器に盛り付け、再加熱したものを提供する方法です。この方式のメリットは「安全性・効率・品質の安定」を同時に狙えるのが大きな強みです。現場への負担軽減やコスト最適化につながります。しかしながら大量調理を前提としているため同じメニューが繰り返される、一定の味付けによって味に飽きてしまうという課題があります。

そのため、今後は行事食や特別食を加え満足いただけるような食事を提供したいと思います。



調理方式による提供プロセスの違い



食事が届くまで



検収 (食品の安全確認)

品質、品温、異物の混入、製造日等点検を行い記録します。
検品チェックは、バーコードで読み取りしています。



食事準備

加工された料理を盛り付けます。



食品の中心温度を3カ所測定し
75℃以上を確認します。



ご飯、麺は病院で調理します。



配膳 (温冷配膳)

冷たい料理は
庫内温度は5℃に
設定しています。



温かい料理は
庫内温度は65℃に
設定しています。



下膳・洗浄 消毒

食器は、湯につけてから、
食器洗浄機で洗います。



洗い終わった食器は消毒保管庫で
80℃で60分消毒します。



強化指定選手に選出されました



このたび当センター職員 加藤凜香さんが、日本パラ陸上競技連盟の強化指定選手（Bクラス）に選出されました（7月1日付け）。

加藤さんは、女子円盤投げ（F53クラス）で9m96cmを大会で記録し、その優れた競技成績が評価されました。日本パラ陸上競技連盟の強化指定選手制度は、国際大会での活躍が期待される選手を対象に指定される制度で選出された選手は、強化合宿や各種サポートを受けながら、世界の舞台での活躍を目指します。

加藤さんは今後、強化指定選手として9月に強

化合宿に参加し、10月に愛知県で開催される第5回アジアパラ競技大会への出場を目指して競技に取り組まれます。加藤さんの今後のさらなる活躍にご期待いただくとともに、温かいご声援を賜りますようお願いいたします。



ラジオ番組に出演しました

7月30日、当センターの血液内科 目黒明子医師が、CRT 栃木放送のラジオ番組「ビタミンとちぎ」の特別コーナーに出演しました。

今回の放送は、ニッポン放送系列全国36局で開催されている疾患啓発企画の一環として実施されたものです。地域で活躍する医師が病気の正しい知識や最新の治療を分かりやすく紹介し、早期発見・早期治療の重要性を広く伝えることを目的としています。

番組では「悪性リンパ腫」をテーマに、病気の特徴や最近の治療、早期発見・早期治療の重要性について分かりやすく解説しました。患者さんをはじめ地域の皆さまに、悪性リンパ腫への正しい理解を深めていただく機会となりました。当センターでは、今後も地域に向けた健康情報の発信に努めてまいります。





治療と仕事の相談会のご案内

ー がん相談支援センターでは仕事に関する相談もお受けしています ー

当センターのがん相談支援センターでは、患者さんが安心して治療を受けながら働き続けられるよう、がん専門相談員による面談・電話相談を随時行っています。また、栃木産業保健総合支援センターやハローワーク宇都宮と連携し、就労に関する相談会も毎月開催しています。

がんと診断されたとき、「仕事を続けられるだろうか」「自分の症状や体力にあった仕事を見つけられるだろうか」と不安を感じたり、職場の理解や支援体制が十分でなく、就業を諦めてしまう方も少なくありません。しかし、令和8年4月から、職場における治療と就業の両立支援の取り組みが、事業主の努力義務となりました。今後、どの職場でも病気を治療しながら仕事をする方は増えていくことが考えられます。

当センターでは、治療と仕事の両立について悩んだり、困りごとが生じた際は、一人で抱え込まず、ぜひがん相談支援センターへご相談ください。患者さんやご家族のお気持ちに寄り添いながら、「働きたい」という思いを支援いたします。

両立支援相談会

栃木産業保健総合支援センターの
両立支援促進員(社会保険労務士)
による相談

現在の職場で働きながら治療を受けていたり、退職後の職場復帰に不安を感じている方などが対象になります。

例えばこんな困りごとは
ありませんか？

仕事内容に配慮を受けるには、
職場にどう相談したらいいか。

今までのように
働くためには、
職場にどう伝えれば
いいか。

職場に復帰する
タイミングは
いつがいいか。



開催日

毎月第2水曜日
10:00 ~ 13:00

就職支援相談会

ハローワーク宇都宮の就職支援
ナビゲーターによる相談

がんなど長期にわたる療養をしながら就職を目指す方、治療に専念するために仕事を辞められた方、副作用や後遺症により今までの仕事に影響が出ている方、求職・転職・応募企業とのやり取り等でお悩みの方などが対象になります。

例えばこんな困りごとは
ありませんか？

自分の症状や
体力にあった
仕事を見つけたい

応募書類の作成や
面接の受け方についての
アドバイスを受けたい



開催日

毎月第1木曜日
13:00 ~ 15:00

※どちらも相談は無料で、個別での相談となります。他の医療機関を受診している患者さんでも相談は可能です。予約制のため、相談を希望される方は、がん相談支援センターにお問い合わせください。

お問合せ先

がん相談支援センター TEL 028-658-6484 (直通) 受付時間 8:30~17:00

当センターへのお問い合わせ

(代表)

028-658-5151

ご予約は以下の窓口までご連絡ください

予約センターのご案内

予約専用電話

028-658-5012

予約受付時間



平日 8:30 - 16:30

予約時にお聞きすること

① 診察券番号(受診歴がある方のみ) ② 受診科と医師名 ③ ご希望の日時

※当センターは、初診、再診ともに予約制となっています。予約センターに電話のうえ、受診日をご予約ください。また、予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

～当日、患者さんにお持ちいただくもの～

☐ 保険証またはマイナンバーカード、各種医療証
☐ 診療情報提供書(紹介状)

☐ 各種検査結果、画像データ(お持ちの方のみ)
☐ お薬手帳(お持ちの方のみ)
☐ 当センターの診察券(お持ちの方のみ)

● 病診連携に関するお問い合わせ

地域連携チーム

028-611-5503

平日 ⑨8:30 から 17:15

● がんに関するご相談

患者総合支援センター・
がん相談支援センター

028-658-6484

平日 ⑨8:30 から 17:00

● がんの遺伝カウンセリングや、ゲノム医療についての予約やお問い合わせ

ゲノムセンター

028-611-5480

平日 ⑨8:30 から 17:00

外来受付のご案内

外来診療日程表は随時更新しております。最新の情報は公式ホームページをご覧ください。



セカンドオピニオン外来のご案内は、こちらからご覧ください。



当センターは
紹介受診重点医療機関
に指定されています

他の医療機関からの診療情報提供書(紹介状)を持たずに外来受診する場合「特別の料金(選定療養費)」がかかります。

初診 7,700 円

※緊急、その他やむを得ない事情がある場合には、「特別の料金」を徴収しないことがあります。

予約センター | 028-658-5012(直通) 受付時間 平日 ⑨8:30 から 16:30

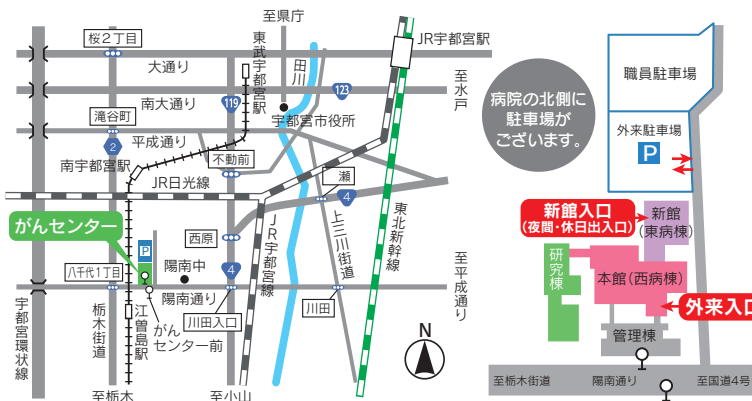
交通のご案内

電車・バス

- JR宇都宮線「宇都宮駅」より
⇒西口から関東バス「江曾島行(11番のりば)」に乗車。「がんセンター前」で下車。横断歩道を渡る。徒歩1分。(乗車時間約25分)
- 東武宇都宮線「江曾島駅」より
⇒東口から関東バス「JR宇都宮駅行」に乗車。「がんセンター前」で下車。徒歩1分。(乗車時間約5分)

自動車

- 東北自動車道「鹿沼I.C.」より
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「滝谷町」交差点を右折南進し、JR陸橋を越え3つ目の信号「八千代1丁目」を左折。(約9.4km)
⇒東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「宮環鶴田陸橋」を右折。「下砥上町」アンダーに入ってすぐ江曾島方向へ左折し7つ目の信号を左折。(約8.2km)



あいの
Philosophy
and
Humanity
こころ vol.41

8月号
2026年
8月25日発行

発行 地方独立行政法人栃木県立がんセンター 広報広聴センター
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13
TEL. 028-658-5151(代) FAX. 028-658-5669

がんセンターの情報は

栃木県 がん

検索

URL <https://www.tochigi-cc.jp>

